

②デザインコードの改訂

(a) 改訂の目的

- ・平成 19 年度のデザインコードは都市及び建築というテーマで 16 項目が提案されていたが、抽象的なものが多く、具体的にどのようなことをすればわかりにくかった。
- ・そこで本年度は昨年度 16 項目をより現地に即して具体化するとともに、また優先順位をつけることによって、地元が取り組みやすいように改訂を行った。

(b) デザインコード改訂及び実現化に向けた今後の取り組み

- ・次ページ以降にデザインコード改訂版を示すとともに、デザインコード改訂版を実現するための取り組みを示す。

デザインコードの絞込み:ターゲットと優先順位を明らかに!

平成19年度のデザインコード		具体のデザイン・カタチ・作法
都市		
1. 新タワーと下町の回遊路・業平	立地特性 (全体に関わる)	長●北十間川に向けて建物ファサードをつくる。
2. 水辺との近接性		
3. プロムナード		
4. 賑わいの街路		
5. ギャラリー・ストリート		
	一体のものとしてまとめる →道路空間のつくり方・使い方、道路と宅地の関係 →バスから見えるまちなみづくり	
建築		
6. ひと休みできる店先		短●スペースがあれば、店にマッチした縁台やベンチを置き、落ち着いた環境や賑わいを産み出す環境をつくる。
7. 連続する正面		短●統一感のある暖簾やサインなどを設ける。
8. 通りと会話する窓	→ 9に含める ファサードデザイン	短●商品の滲み出しで、道にぎわいを演出する。 短●手書き看板や値札で、親しみやすさを出す。 短●店の歴史を感じさせるモノを見せる。(古いレジ、勘定場、古い道具など) 中●店内が見通せる/雰囲気を感じられる窓・入口 中●商品を見せる(魅せる)窓・入口 中●モノづくりが見える(工房・キッチン等)窓・入口 中●店先で明るい対面販売を行えるファサードとする。
9. 通りに開く店舗		
10. お客を迎え入れる庇		
11. 建物を活かす看板		
14. 店先から漏れる明かり		中●店の明かりが道に漏れる。 中●閉店後も店の灯りで店内が見える。
素材		
12. 伝統的な材料		瓦、ガラス、木、布、タイル、鉄、銅 などを用いる。
13. 大地から生まれる色合い(アースカラー)		地域の伝統的色、天然素材の色を用いる
使い方		
15. 公開工房・公開厨房	→ 8. 9に含めて記述	
16. 身近な緑	→ 3~6に含めて記述	

※凡例
短:短期 中:中期 長:長期 ●:民間中心 ○:行政中心



デザインコードの絞込み

- スカイツリーの来訪者を業平・押上の町に呼び込む
- 各店で比較的ローコスト・短期間でできることを中心に

ターゲット:外国人観光客、修学旅行

- 外国人観光客:
「日本らしさ」を求める
・「現代」ではなく
「近代(昭和・大正)」、「近世(江戸)」、
・「大企業」、「ナショナルチェーン」ではなく、
「地元」、「老舗」
- 修学旅行客:
「東京らしさ」を求める
・「都会」だけでなく「下町」、「人情」、
・「見学」だけではなく、
「触れ合い」、「コミュニケーション」

スカイツリーの商業施設とは異なる体験、
もの、サービスを提供

街並み景観づくりの方針:
昭和町情緒のあるまちなみ



優先すべきデザインコード(案) (それぞれの店でできることを中心に)

- A. すぐに行えること(時間、コストをあまりかけないで)
 - ①店先に江戸～昭和期を想起させる暖簾、幕を設ける
 - ②店先を良く手入れし、美しくする。
可能な箇所に植栽を施し、休む場所を設ける
 - ③道から、店の中の見通しを良くし、店の雰囲気を窺い知れる部分を設ける
 - ④ファサードの一部に、自然素材を用いて①に合う改修を施す
- B. スカイツリー開業までに実施したいこと
 - ⑤サイン、看板は自然素材とし、プラスチック面材等は用いない。
プラスチック看板の内部仕込み照明は用いず、間接照明とする。
 - ⑥ファサード1階部分に、連続した庇または下屋(意匠的な意味が中心)を設ける。
- C. 建て替えなどに合わせ、中長期的に取り組むこと
 - ⑦低層(1, 2)階とそれ以上の階のファサードに区分を設け、
低層階は、看板建築など地域的・歴史的特徴を活かした表現とし、
それにふさわしいのある素材(木、瓦、吹き付けなど)、色彩を用いる。

注) 店の外観の改良や店先の手入れだけで売り上げ増加になるとは言えませんが、まちに人を導き、人が楽しんで歩けるようにするには重要なことです。そのことは、商品やサービスの改良と相俟って、まちと店の魅力を高めることとなります。

今すぐできる！お客さまを呼び込み、楽しんで歩いていただくまちの修景

■まちなみ・店先整備の具体的なイメージ(例)

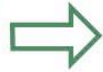
実施にあたっては、様々な課題も想定されますが、地域で協力し、できることからひとつずつ実施していきましょう。

A. すぐにできること(時間、コストをあまりかけないで)

①店先に江戸～昭和期を想起させる暖簾、幕を設ける



【実施前】



【実施後】

・幕(暖簾)を設け、粋な店先を演出



頑張っている事例



・落ち着いた素材、色の暖簾が、まちなみに風趣をそえている。

③みちから、店の中の見通しを良くし、店の雰囲気を知りやすい部分を設ける



【実施前】



【実施後】

・店の様子がみちから分かりやすい。店主店員にとっては常に見られることで、よい緊張がある



頑張っている事例



・季節のデコレーションや商品が通りからきれいに目に見えて楽しい。



・みちから店がよく見通せる。夜は明かりがにじみ出す。

②店先を良く手入れし、美しくする。可能な箇所に植栽を施し、休む場所を設ける



【実施前】



【実施後】

・季節の花などを楽しめる植栽があり、潤いを感じる。
・ちょっとした座れる場所があり、来訪者に親切。にぎわいも産み出す。
・商売に対する熱心さやもてなしを感じる。



頑張っている事例



・買った甘栗を座って食べれる腰掛がある。小さくても、季節の植栽や壁のアルコーブに置物などがあるとさらにフレンドリーになりそう！



・店前に緑を配置できる空間をしつらえている。

④ファサードの一部に、自然素材を用いて①に合う改修を施す



【実施前】



【実施後】

・一部でも自然素材を取り入れることで、地域の目指す景観イメージに近づく。



頑張っている事例



・木を用いた建具や窓枠。

B. スカイツリー開業までに実施したいこと

⑤サイン、看板は自然素材とし、プラスチック面材等は用いない。プラスチック看板の内部仕込み照明は用いず、間接照明とする。



【実施前】



【実施後】木製の看板



【実施前】



【実施後】布製の看板(庇)と間接照明



頑張っている事例



・木製の看板に和風の書体で綴った看板。老舗の風格を感じさせる。

⑥ファサード1階部分に、連続した庇または下屋(意匠的な意味。浅くて良い)を設ける。



【実施前】



【実施後】



頑張っている事例



・連続した下屋(地域外)

・連続した庇(地域外)

C. 建て替えなどに合わせ、中長期的に取り組むこと

⑦低層(1, 2)階とそれ以上の階のファサードに区分を設け、低層階は、看板建築など地域的・歴史的特徴を活かした表現とし、それにふさわしい素材(木、瓦、吹き付けなど)、色彩を用いる。



【実施前】
・幹線道路沿いに2~3階建の建物が並んでいる。
・ファサードは地域の歴史を感じさせるが、老朽化も進んでいる。



【実施後】
・幹線道路沿道の建物は高層化されるが、低層階のファサードは昔の面影を残しつつ、自然素材等を用いて再生される。

今すぐできる！お客さまを呼び込み、楽しんで歩いていただくまちの修景 1

■まちなみ・店先整備の具体的イメージ(例)

A. すぐにできること(時間、コストをあまりかけないで)

① 店先に江戸～昭和期を想起させる暖簾、幕を設ける



【実施前】



【実施後】

・幕(暖簾)を設け、粋な店先を演出



頑張っている事例



落ち着いた素材、色の暖簾が、まちなみに風趣をそえている。



大衆的ではあるが、暖簾によってきちんとしたお店であることを感じさせる。



暖簾によってきちんとしたお店であることを感じさせる。

② 店先を良く手入れし、美しくする。可能な箇所に植栽を施し、休む場所を設ける



【実施前】



【実施後】

・季節の花などを楽しめる植栽があり、潤いを感じる。
 ・ちょっとした座れる場所があり、来訪者に親切。にぎわいも生み出す。
 ・商売に対する熱心さやもてなしを感じる。



頑張っている事例



買った甘栗を座って食べられる腰掛がある。



店前に緑を配置できる空間を工夫している。



特徴のある植栽